

L^AT_EXによる文書作成 第2回

塩浦 昭義*

Akiyoshi Shioura †

平成13年11月27日

1 文字飾り

1.1 文字のサイズとフォントの変更

基本となる文字のサイズは `\documentclass` コマンドを使用 (前回のテキスト参照)

★ 部分的に文字のサイズ・フォントを変更するときは下記のコマンドを使用:

文字サイズ変更コマンド	英語	日本語
<code>\tiny</code>	ABC	あいう
<code>\scriptsize</code>	ABC	あいう
<code>\footnotesize</code>	ABC	あいう
<code>\small</code>	ABC	あいう
<code>\normalsize</code>	ABC	あいう
<code>\large</code>	ABC	あいう
<code>\Large</code>	ABC	あいう
<code>\LARGE</code>	ABC	あいう
<code>\huge</code>	ABC	あいう
<code>\Huge</code>	ABC	あいう

文字フォント	文字フォント変更コマンド	英語	日本語
Roman (明朝)	<code>\rm</code>	ABC	あいう
Bold Face (ゴシック)	<code>\bf</code>	ABC	あいう
<i>Italic</i>	<code>\it</code>	<i>ABC</i>	
<i>Slanted</i>	<code>\sl</code>	<i>ABC</i>	
Sans Serif	<code>\sf</code>	ABC	
Typewrite	<code>\tt</code>	ABC	
SMALL CAPS	<code>\sc</code>	ABC	

※標準の設定は `\normalsize, \rm`.

使い方: 変更したい部分を中かっこでくくり, その中でコマンドを使用.

`{ \Large\bf ゴシック体の大きな文字です. }` ⇒ **ゴシック体の大きな文字です.**

!注意! — 文字サイズとフォントを同時に変更したい場合には, サイズの変更をした後, フォントを変更するようにしてください. `\bf\Large` のように順番を逆にすると, 思い通りの表示にならないことがあります.

*東北大学大学院 情報科学研究科

†Graduate School of Information Sciences, Tohoku University

1.2 特殊な文字

- クォーテーション ‘...’. クォーテーションを二つ並べるとダブルクォーテーション “...”.
- ハイフン (-) は単語の接続に使う (例: well-known).
ハイフンを二つ (--) 並べると – となる. ページ等の数値範囲に使う (例: p. 150–155).
ハイフンを三つ (---) 並べると — となる. 文書の途中で文を挿入する場合などに使う.
- 単語などの下に下線を引くには, コマンド `\underline{文章}` を使う (例: 東北大学).
- ドイツ語やフランス語で用いられるアクセント記号一覧:

acute	é	\’e	grave	è	\‘e
hat	ê	\^o	tilde	õ	\~o
bar	̄	\=x	bar-under	z̄	\b z
dot	š	\. s	dot-under	ḥ	\d h
check	ǰ	\v\j	breve	ï	\u\i
long	ŵ	\H w	tie-after	řš	\t rs
umlaut	ü	\"u	cedilla	ç	\c c

2 文書のレイアウト

2.1 改行・改段落・改ページ

- 改行 — 改行したいところにコマンド `\\` を挿入
改行幅を変更するには, `\\[2cm]` のように改行コマンドの直後に改行幅を指定する.
- 改段落 — 段落と段落の間に空行を一つ以上挿入
- 改ページ — 改ページしたいところにコマンド `\newpage` を挿入

2.2 ページレイアウトのためのパラメタ

- `\textwidth` — 本文の幅を指定
- `\textheight` — 本文の高さを指定
- `\oddsidemargin, \evensidemargin` — 奇数および偶数ページの左側の余白幅を指定. 実際には指定した数値 + 1 インチの幅になる
- `\topmargin` — ページの上側の余白幅を指定. 実際には指定した数値 + 1 インチの幅になる
- `\parskip` — 段落の間の幅を指定
- `\baselineskip` — 改行幅を指定

使い方: `\documentclass` コマンドと `\begin{document}` コマンドの間で使う.

(`\baselineskip` については `\begin{document}` コマンドと `\end{document}` コマンドの間)

```
\documentclass[12pt,a4paper]{jarticle}
\textheight 25cm
\textwidth 18cm
\oddsidemargin -10mm
\evensidemargin -10mm
\topmargin -2mm

\begin{document}
\baselineskip 10mm

(本文を書くところ)

\end{document}
```

2.3 空白の制御

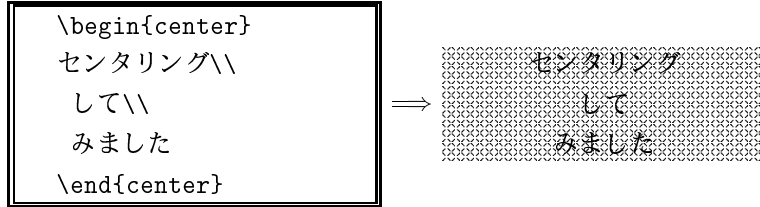
- `\vspace{高さ}` — 上下方向に指定した高さの空白を空ける。ページの先頭で使う場合には `\vspace*{高さ}` を用いる。
- `\hspace{長さ}` — 左右方向に指定した幅の空白を空ける。行の先頭で使う場合には `\hspace*{長さ}` を用いる。

3 環境

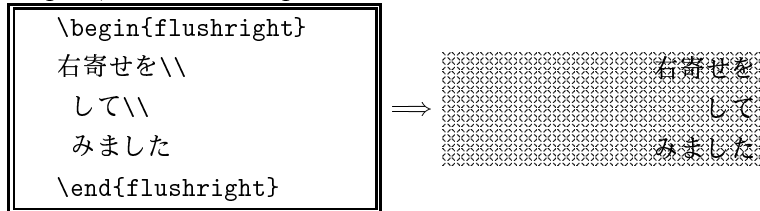
TEXにおいて `\begin{...}`, `\end{...}` のようなコマンドを「環境」と呼びます。 `\begin{...}`, `\end{...}` で囲まれた部分の文書に対しては、ある特別な処理がなされます。

3.1 センタリング, 右寄せ, 左寄せ

- `\begin{center}`, `\end{center}` — センタリングするための環境



- `\begin{flushright}`, `\end{flushright}` — 右寄せするための環境



- `\begin{flushleft}`, `\end{flushleft}` — 左寄せするための環境

4 今週のレポート課題

次ページのようなチラシを作りなさい。内容は何でも可。

ファイル名：(アカウント)-r2.tex — 自分のアカウントが a1e999z ならば a1e999z-r2.tex とする

締切り：12月11日(火)午後2時半

2001年度

東北大学

大学祭のお知らせ

この度、東北大学では下記の予定で
大学祭を行うことになりました。
皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日時：11月2日(金)、3日(土、文化の日)、4日(日)、5日(月)

会場：東北大学川内北キャンパス

仙台駅からバスで約10～15分